

S&P「The Sustainability Yearbook – 2025 Rankings」 最高評価の「Top 1%」に選定

住友林業株式会社(社長:光吉 敏郎 本社:東京都千代田区)は世界的に著名な調査・格付け会社である米国の S&P Global 社が行ったサステナビリティ格付け「The Sustainability Yearbook – 2025 Rankings」にて、当社が所属する産業区分「Homebuilding(住宅建設)」における最高評価の「Top 1%」に選定されました。最高評価の獲得は7年連続となります。

S&P Global 社は世界の大手企業 7,690 社以上を対象に経済・環境・社会面での取り組みについて評価し、そのうち 780 社の企業を「持続可能性に優れた企業」として「The Sustainability Yearbook – 2025 Rankings」に掲載します。日本企業では 80 社が掲載されています。

2008 年に「The Sustainability Yearbook」が開始されて以来、当社は「Homebuilding(住宅建設)」産業において 18 年連続で「持続可能性に優れた企業」として掲載されています。今回、それぞれの産業区分の「Top 1%」に選定された日本企業は当社を含む 9 社です。

この他、当社は S&P Global 社のスコアをもとに選定される世界的な ESG 投資株式指標「Dow Jones Best-in-Class World Index^{*1}」「Dow Jones Best-in-Class Asia Pacific Index^{*2}」の構成銘柄にも選ばれています。



住友林業グループは SDGs 目標年でもある 2030 年を見据え、長期ビジョン「Mission TREEING 2030」を策定。長期ビジョンでは「地球環境への価値」「人と社会への価値」「市場経済への価値」の視点から 9 つの重要課題を特定しました。今年が初年度である中期経営計画「Mission TREEING 2030 Phase2」(2025~2027 年)では「事業と ESG の更なる一体化」を基本方針の 1 つに掲げています。今後も SDGs をはじめとする社会の期待に応え、企業価値の向上につなげていきます。

※1 2025 年 2 月 10 日に「Dow Jones Sustainability World Index」から名称変更。

※2 2025 年 2 月 10 日に「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」から名称変更。

《リリースに関するお問い合わせ》

住友林業株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 市川・内田
TEL:03-3214-2270